

2020年7月22日
関東鉄道株式会社

関東鉄道竜ヶ崎線開業120周年記念プロジェクト

8月14日 竜ヶ崎駅トイレ リニューアルオープン



外観イメージ

関東鉄道株式会社(取締役社長:松上英一郎 本社:茨城県土浦市)では、竜ヶ崎線が2020年8月14日に開業120周年の節目を迎えることから、記念プロジェクトの一環として、龍ヶ崎市との協力により竜ヶ崎駅トイレの建替・新築工事を進めてまいりましたが、使用開始日が8月14日に決まりましたことから、下記のとおりお知らせいたします。

トイレのリニューアルにあたり、昨年9月に駅舎内にオープンした『りゅう舎(コミュニティバス待合室)』との融合をコンセプトとして、引き続きトータルデザインを造形作家の鯉丸邦生氏に担当いただき、内外装に無垢木材を多用した創業時の旧駅舎からの歴史を反映したレトロモダンの外観デザインとしたほか、手洗器と荷棚を各便器個別に設置するなど、衛生・機能面でも時代に即したデザイン設計を実現しました。

記

1. 竜ヶ崎駅トイレ使用開始時刻

2020年8月14日(金) 10:00から

2. トイレの位置

関東鉄道 竜ヶ崎駅構内(龍ヶ崎市字寺後3895-2)

3. 設備の概要	木造平屋建、床面積38.5㎡	
	駅前広場側（公衆トイレ）	多機能トイレ（オストメイト対応）
		男子トイレ 大便器1個、小便器2個 手洗器3個
		女子トイレ 大便器2個、手洗器2個 パウダースペース2ヶ所
	ホーム側（竜ヶ崎駅改札内）	男子トイレ 大便器1個、小便器1個 手洗器2個
		女子トイレ 大便器1個、手洗器1個

※1 大便器・小便器のそれぞれに手洗器が配備されます。

※2 大便器は全て洋式ウォシュレットタイプとなります。



より衛生的に利用できるように便器ごとに手洗器・荷棚を設置

造形作家「鯨丸邦生」氏のコンセプト

建物外観は風景の一部となります。

また、駅・鉄道には通勤通学などをはじめ、旅、別れや出会いなどなど、利用者・管理者各々の思い出の時間があります。

竜ヶ崎駅は明治33年の誕生から今年で120年。

今までの竜鉄に積層した各々の時間に思いを馳せながら、

駅の歴史と地域の特色を手掛かりにデザインを考え、竣工時が美観のピークではなく、人々が手をかけ、時を経ることによって味わいが出てくるような建築を目指しました。



初期スケッチ(2019年12月)

以上